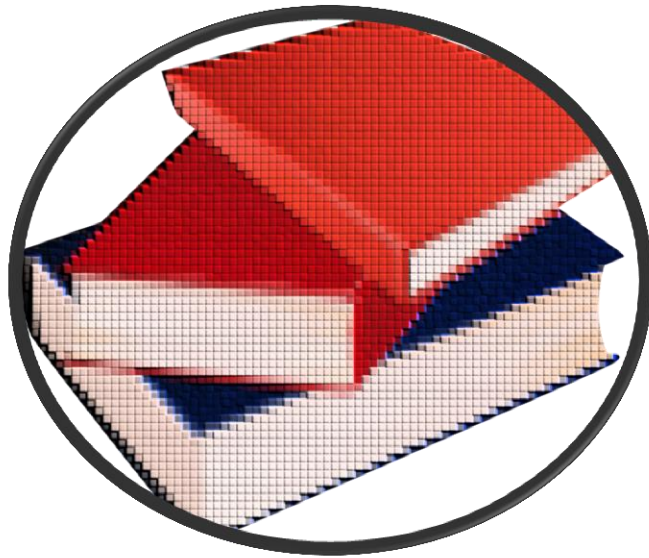


2015 年度 経済学部 ゼミ紹介



日時：2015年5月20日（水）

10：40～

場所：甲友会館大ホール

★館内での飲食禁止

甲南大学経済学会

もくじ

青木ゼミ	2
足立ゼミ	3
石川ゼミ	4
石田ゼミ	5
市野ゼミ	6
稲田ゼミ	7
永廣ゼミ	8
岡田ゼミ	9
奥田ゼミ	10
春日ゼミ	11
高ゼミ	12
小山ゼミ	13
柘植ゼミ	14
筒井ゼミ	15
寺尾ゼミ	16
中島ゼミ	17
林ゼミ	18
平井ゼミ	19
村澤ゼミ	20

青木ゼミの紹介

【先生から一言】

青木ゼミは、大学における「学びのエピソード」作りをめざすゼミです。まず、なんといっても皆さんが主役です。先生は基本的には学び（と遊び）の環境設定に特化します。「勉強は教えてもらうものではなく、自分たちでするもの」と理解して下さい。なにか特定の教科書を使って勉強するスタイルではなく、いつもパソコンをいじって自分たちで考えているゼミです。操作方法が分からなければ、ゼミの仲間が教えてくれます。だから教室は5号館の2階のアクティブラーニング教室にあります。4人程度のグループ単位で議論しながらゼミをしています。4回だけ自分たちで勉強したら、みんなでプレゼンのコンペ、学生評価が最も高いチームにはご褒美があります。その後、また、グループのリシャッフル・・・といった形でゼミが進みます。その狙いは、皆さんが社会に出たときに分かってきます。学生生活をエンジョイしたいと思っている人、自分を変えてみたいと思っている人、大歓迎です。元気の良い人はもちろんですが、そうでない人も歓迎します。

【ゼミの学生から一言】

- ・みんな元気で、和気あいあいとしている雰囲気、メリハリのある学びの場です！
- ・基本的にパソコンを使ってプレゼンの準備をしているので、パソコンスキルがとても上達しました。
- ・親切で色々教えてくれて、皆が仲良くできるような雰囲気作りをしてくれる先生！

※青木ゼミの女子学生からのコメントです。

足立ゼミ

[ゼミのテーマ] 社会保障財政。社会ってどうしたらよくなるの???

[ゼミの内容]

社会ってどうしたらよくなるの？みんなきちんと考えて、全力を尽くしているのに、うまくいかないことがある。それはなぜうまく機能しないの？

足立ゼミでは、まさにこのテーマを社会の仕組みから考えます。

人の性質や感情といった、その人自身に答えを見いだすのではなく、人が置かれている状況、つまり社会の構造や制度の仕組みから答えを見つけていきます。私たちが生まれる前から死ぬまで、どのような制度やきまり事があって、その制度が行われるのに、だれがどのようにお金を集めて、だれがどのようにお金を出して、だれがその制度を利用しているのか？そしてそのままの社会の仕組みであれば将来どうなるのか？社会の仕組みを知ったうえで、どうして社会はうまく機能しないのか？それをみんなで作るのが足立ゼミです。

[ゼミの運営方針]

- 2年次では、グループ単位で40分ほどの講義をしてもらいます。テキストを使い、担当する章を決め、基礎的な知識を整理し、その章の見解と最新の動向を調べ、(必要に応じて)実際の現場にヒアリングにいき、講義を行ってもらいます。すでにみなさんは様々な講義を受けています。自分が面白いと思った講義、つまらないと感じた講義、色々な思いを感じていると思います。今度は皆さんが教員になって、どうすれば最高の講義ができるか、考えてください。
- 3年次では、2年次の基礎的な知識、グループワークそして講義経験を通して、まず自分たちで1年間の計画をたててもらいます。研究テーマを決め、文献検索、データ収集、現場の視察、分析そして論文執筆と進めます。その成果を甲南大学経済学部では、インゼミや他大学との合同ゼミや研究会などで発表する機会があります。何をするのか、何をを目指すのか、それを自分たちで考えて実行します。
- 4年次では、2年次3年次の基礎的な知識と研究経験を踏まえ、自分が知りたいことを明確にし、テーマを深める形で卒業研究を行います。

2015年度 第5期 石川ゼミの紹介

私の研究のキーワードは **都市 地域** です。

ゼミでは、学外での **フィールドワーク** などを通じて、身近にある問題を明らかにしたうえで、その問題に対して具体的な解決策を提案してもらい、実際にそれを行っていきます。

この大きなテーマに沿って、ゼミでは、

- ① 論理的な考え方を学ぶ
- ② 実践力を高める
- ③ プレゼンテーション力を高める
- ④ コミュニケーション力・ディベート力を高める
- ⑤ 主体性、協調性を高める

ことを目標として進めていきます。

ゼミでは **グループワーク** が中心となりますので、ゼミの時間外にゼミの作業をしなければならない時もたくさんあります。そういう意味でも、積極的にゼミ活動に参加する学生さんを応募します！また、ゼミでは、他大学（関大・近大）との **交流ゼミ** や、地域の人々を巻き込んだ **さまざまな企画を立案・実施** していきます。このため、さまざまな人との交流の輪を広げたいと思う、アイデア力のある学生さんにぜひ来てほしいです☆

石川ゼミは、私を含め、ホント元気です(*´▽`)/「元気で楽しく学びたい」、「アクティブに行動したい」と思っている人はぜひ来てください☆ゼミでできる友だちは、普段の友だちとはまた違ってホント魅力的です♪第5期のゼミ生さんたちも、私をガンガン引っ張ってくれるような、楽しいゼミを作ってもらえれば嬉しいです！！

石田ゼミ

《石田ゼミとは》

石田ゼミは金融の基礎から応用まで様々な内容を取り扱い、各々の金融に関する知識をより幅広くしてくれるゼミです。社会で実用できる力が身につくので銀行などの金融業に興味をもっている方、金融業に就職を考えている方にはうってつけのゼミです。また、石田先生から金融に関する知識を基礎からしっかりと教えてもらえるので、これから金融の知識を身につけたいと思っている方も参加しやすいゼミです。

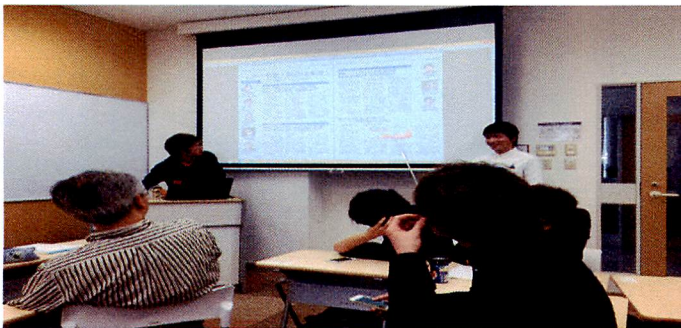
《石田ゼミで身につく力》

石田ゼミでは、グループワーク、発表、ディスカッションをメインに行います。これらを行うことで身につく力があります。

- ① 色々な人の意見を聞いて取り入れる力
- ② ディスカッションを通して自分の意見を言う力、より皆に分かりやすく発表する力
- ③ 時間通りに作業を行う計画力
- ④ これらの過程の中で身につく金融の知識

などです。

これらは間違いなく将来の役に立ちます。石田ゼミでは生徒の自主性を大切にもらえるので、これらの力を格段に伸ばしやすいです！ また、発表の時には石田先生のフォローがあり、より応用的なことを教えてもらえます。



「うーん、じゃあ、こうかな?！」
 気付けば全員
 口癖になってるよ
 いちのゼミ

市野ゼミW優勝!!



市野泰和
 @yasu_zq_ichino

今日、ゼミ生たちの研究の参考になるかも
 と思ってお気に入りに入れていたThe
 Economistの記事のツイートを彼らに見せよ
 うとしてお気に入りを開いたら、プー
 ルイ、ねむきゅん、えいたその写真入りツイ
 ート3連チャンがまず出てきて、ちょっと
 「・・・」ってなった。

市野ゼミ

経済学をより楽しく、より身近に
 実感でき、より自分に身につけ
 たいなら市野ゼミ!

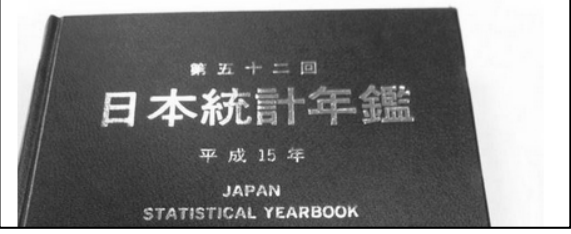
Active Student Program
 1泊2日@東京
 無事発表終えて良かった。
 半年間研究
 お疲れさまでした!!



靴下長い♡市野ゼミ
 ♡(23)



ゼミでこれを見つけて
 うわ!めっちゃおもしろそうやん!
 ってみんなで言うてて
 成長したあって思った。



どうせやるなら
 「世界で僕達しか
 やってない研究」を
 やってみたい?

学ぶことがきっと楽しくなる!
 あなたもきっと市野先生の虜になる!

稲田ゼミナールとは？

今年のゼミの特徴：皆さんと一緒に関西経済を勉強します。人口減少下の日本経済が生き残っていくためには、海外、特に成長著しいアジアを無視できません。皆さんが生活し、将来就職する可能性が高い関西経済は、非常にアジアと結びつきが強いのです。関西といえば、なにも阪神タイガースだけではないのです。アジアを意識することなく関西を語れません。アジアとのつながりを深く考えることで、関西経済の発展の方向や成長戦略へのヒントが見えてきます。そこで、関西経済を学習するのは、今でしょうと思い、皆さんと一緒に関西経済を研究することにしました。

具体的には：ゼミの内容を紹介します。

- (1) まずは関西経済の理解：最初は関西経済の基礎データを学習します。次に、アジアとの関係を強く意識する大阪や神戸の1スポットを選んでもらいます。現地の訪問も重要な手段です。
- (2) 次に、その場所がなぜアジア人を引き付けているのか理由を深く考えてみます。新聞紙面の関西経済欄が大いに参考になるでしょう。また土地の魅力やブランドについても考えてみます。この段階で、多くの参考文献を読みこなします。
- (3) 最後の段階として、ちょっと難しいですが「関西経済の成長戦略」の研究にチャレンジします。成長戦略とは皆さんの雇用や所得の増加をいかに実現するかを考えるものです。例えば、関西の各府県や広域連合はどのような成長戦略を持っているのでしょうか？成長をリードする産業をどのように考えているのでしょうか。これらを研究・理解することで、各人の成長戦略につながればと考えています。

ゼミの運営について：週に1回のゼミ発表と週ごとの関西経済の情報収集がゼミ運営の車の両輪です。各グループは先週に発表されたデータを用いて、関西経済のReviewを行い、週1回のプレゼントを行います。そして、それをめぐっての議論をします。

永廣ゼミ

永廣から…

ゼミとは、単位を修得するためだけにあるのではなく、ゼミ生同士、ゼミ生と教員が、学問はもちろん、学問以外についても自由に議論し、「ゼミ生が主体となって全員で勉強する」場であると思います。

私のゼミでは、転換期にある日本財政の諸問題について、理論、歴史、制度、政策それぞれに目配りしながら、多角的、総合的に検討します。近年は、財政赤字、税制、社会保障（公的年金など）に関する問題を取りあげています。ゼミ生のみなさんには、些細なことであっても、論点や疑問点等を積極的に提起し、自由に議論してほしいと思います。また、ゼミでの議論を通じて、自分自身の考えを論理的に整理する方法を身につけてもらえることを期待しています。

ゼミ生同士、ゼミ生と私が、何でも自由に話し合える雰囲気を作るため、ゼミの運営方法については、ゼミ生からの意見も積極的に取り入れています。研究室への来訪は大歓迎ですし、課外活動（ゼミコン、社会見学、合宿などのイベント）も実施しています。ゼミ生のみなさんには、ゼミ室での勉強、課外活動、いずれにおいても大いに個性を發揮してもらいたいと思います。

ゼミは、知識はもちろん、礼儀作法等の社会性も身につけるところです。ゼミ活動を通じて、ゼミ生同士、ゼミ生と私との間に確かな信頼関係を築き、実りの多いゼミにしていきましょう。

ゼミ生から…

☆永廣ゼミでは、主に財政について学んでいきます。財政問題に関する本を読み、質問・回答などの班に分かれ、それぞれの班でレジュメを作り、質疑応答をするという輪読をゼミ生主体で行っています。ゼミは少人数で細かい指導を受けられ、また班に分かれることによって協調性や自発性を養うことができると思います。また様々な工場や企業への社会見学や食事会も実施され、楽しく学べるゼミです。

☆永廣ゼミでは、財政についての教材を用いて輪読を行います。輪読では、財政の諸問題について考えるにとどまらず、発表を通じて話す力を養ったり、問題を要約してまとめる力を身に付けたりします。また永廣ゼミでは、社会見学やゼミコンも活発的に行い、他のゼミに決して負けない充実度があります！大学生活をバイトやサークル、部活動などの活動だけでは物足りない、良いものになりたいと考えている方には是非永廣ゼミをおすすめします！

☆永廣ゼミで中心となる内容は輪読です。輪読とは、財政に関する本を読み、問題点や疑問を見つけ出し、それについての議論をしながら財政についての理解を深め、知識を身につけていくものです。難しいですが、みんなで協力すれば、必ずやり遂げられる内容です。また、年に数回、工場や企業を訪れる社会見学、ゼミのメンバーや先生との交流を深める食事会が行われます。永廣ゼミは、協調性や社会性を身につけることができる、楽しいゼミです。



岡田ゼミ



書を読み、街を歩き、人と出会い、神戸の歩みをじっくりと学ぼう。
そうすれば、この大都市の進むべき道がおのずと見えてくるはず。
(ゼミ教員より)



岡田ゼミ・フィールドワーク (2014年11月9日 メリケンパーク)

😊😊 現役ゼミ生 (4回生) からのメッセージ 😊😊

私達岡田ゼミは神戸の経済と歴史について研究しています。

神戸は歴史が深く、観光名所が数多くあり、知れば知る程魅力的な一面に気づくことができます。

岡田ゼミでは、この魅力あふれる神戸の街へフィールドワークという形でおもむき、自分達の目でその魅力を知ること、より深い研究へと繋げています。

そのフィールドワークを通し、ゼミ内の仲を深め、楽しく和気あいあいと活動しています。みなさんもこの岡田ゼミでゆかいな岡田先生と共に神戸の経済と歴史について学んでみませんか \ (^ ^) /

奥田ゼミナール

[担当者から] こんな時代だから古典を読もう



《文明社会では、人間はいつも多くの人たちの協力と援助を必要としているのに、全生涯をつうじてわずか数人の友情をかちえるのがやっとなのである。》(『国富論』第1編第2章)

わたくしにとって、大学時代のゼミナールは、まさにそうした貴重な「友情」の苗床でした。みなさんにとっても、そうであることを希望します。

ところで、アダム・スミスは上の文章に続けて言います。他人の善意はあてにできない。それよりも相手の利己心に働きかけるほうがよい。《われわれが自分たちの食事をとるのは、肉屋や酒屋やパン屋の博愛心によるのではなく、かれら自身の利害にたいするかれらの関心による。われわれが呼びかけるのは、かれらの博愛的な感情にたいしてではなく、かれらの自愛心にたいしてであり、われわれがかれらに語るのはわれわれ自身の必要についてではなく、かれらの利益についてである。》

経済学的人間観の宣言としてあまりにも有名な箇所ですが、しかし、わたくしには《一身にして二生を経た》(『福翁自伝』)のような溜息が聞こえてくるような気がしてなりません。二つの引用文をゆっくりと読み比べてみてください。

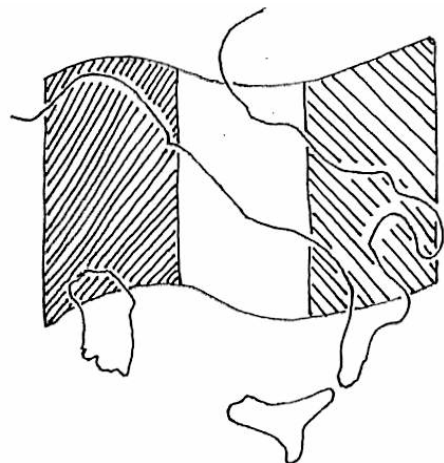
「産業革命」と「市民革命」によって社会の成り立ちが大きく変わろうとしている時代のただなかで、新しい学問のありかたを求めたのがスミスです。『国富論(諸国民の富)』を手がかりにして、経済学の初心を探りたいと思います。

[受講生から] なにかを真剣に突き詰めた人にはオススメ

「奥田ゼミナール」受講適性診断

- ・書物を愛している (はい/いいえ)
- ・感受性が豊かである (Yes/No)
- ・知的好奇心が旺盛である (Ja/Nein)
- ・社会科が全般的に好きである (Oui/Non)
- ・論理的・多面的に物事を把握できる (Si/No)

5つすべて当てはまる人は「奥田ゼミナール」へ



春日ゼミ

テーマ：「現代産業論」

日本の産業に関する様々な話題について学習します。主としてグループで書籍等の情報を調査・分析した結果を報告し、その内容についてゼミ生全員で討論することで、知識や理解を深めていく形式で進める予定です。

甲南大学では今年度第三期目のゼミ募集となります。まだまだ歴史の浅いゼミですので、ゼミの進め方はみなさんの意見を取り入れながら、柔軟に変更していきたいと思っています。以下では昨年度のゼミと、過去に実施してきたゼミをベースに、現時点での予定をご説明します。

ゼミⅠ

・まず産業を分析する技能を身につけます。参照すべき図書や新聞情報の検索の仕方等の分析方法に関する基礎的知識を身につけた後、グループごとにPPTを用いて発表を行います。分かりやすく興味を引く内容のプレゼンを行うよう工夫し、事前に質問内容がある程度予想し、調査を行っておく必要があります。聞き手は報告の内容を理解したうえで質問を行い、発表グループの理解度を確認します。

ゼミⅡ

・ゼミⅠの内容を反復するとともに、特定のテーマについてより深く掘り下げ、大学対抗のディベート大会や経済学会のインターゼミナール大会への参加を通じて、相手の質疑に臨機応変に対応する技能を身につけます。

ゼミⅢ

・各自が興味を持った産業について卒業研究を行います。ゼミ生全員でオリジナルの「産業地図」を作成することが最終的な目標です。

春日ゼミ一同、
お待ちしております！



高 ぜ み

【高先生から】

ゼミは、教員が学生に一方通行で行う講義とは大きく異なる。教員と学生たちが自由な意見交換をし、ともに学ぶ場であり、ともに「楽しいゼミ」を作っていく場といえる。

高ゼミでは、スマートフォンや薄型テレビにおける国際競争関係を勉強する。2年後期では、基本的な資料を学び、その後にゼミ生の希望を聞いていくつかのチームで課題を決め、調べていく。テストはない。インゼミには参加したい。4年の最後に卒論（卒業レポート）を書く。

好奇心旺盛で、企業に関心がある学生の参加を望みます。

【高ゼミの学生から】

今年の高ゼミでは、アップルの iPhone や韓国サムスンのスマホを調べるチームと、シャープやソニー、パナソニックなどの日本の電機産業を調べるチームがあります。2つのチームが調べてきたことをもとにプレゼンを何度もしてきたので、次第に説明するのも上手くなってきたように感じます。プレゼンの後に先生が補足説明などをしてくれるので、とても理解が深まります。

先生も気さくな方で、男子 14 人と女子 5 人でいつも和気あいあいと話ができる楽しいゼミです。

ゼミ見学などに参加したらわかると思いますが、高ゼミに入ってきたと後悔することはないと思います。

小山ゼミのご紹介

ゼミ生から

小山ゼミは主に「環境と経済」について研究・発表・討論するゼミです。「環境と経済」と聞くととっつきにくいイメージがあるかと思いますが、そんなに複雑な事はしません。むしろ、テーマはほぼ自由なので、自分が本当に興味のある物事について取り組む事が出来ます。

一見経済とは関係なさそうな事でも突き詰めていくと、必ず経済に関係しています。小山ゼミではいきなり経済学から入るのではなく、こういった自分が関心のある事柄から経済に馴染んでいけるのが特徴です。

もし経済学に興味がない、もしくはよく分からないという人は、まずこの小山ゼミで、興味のある事柄から経済の世界に足を踏み入れてみてはどうでしょうか？

きっとあなたが経済に対して抱いていたカタさやとっつきにくさがなくなると思います。

担当教員から

ゼミに所属すると、就職活動のときに「自分は大学のゼミで、こうしたテーマで研究しています」とアピールできます。しかし、より重要なのは、自分が大学卒業後ずっと（無意識に）使っていくことになる物事に対する見方、判断の仕方、あるいは問題解決型思考法といったものを、ゼミの活動を通じて確立しておくことだと、私は考えます。

小山ゼミでは、ゼミ生一人ひとりが必要な情報を効率的に収集し、それらに基づいて論理的に思考・判断する能力・スキルを向上させることを目標として、さまざまな機会を設けています。

自らの能力・スキルをアップさせたいという強いモチベーションを有し、かつそれを維持し続けられる学生が、小山ゼミに応募してくれることを期待しています。



環境経済学

柘植ゼミ



先生紹介



私達のゼミの先生は、環境経済学を専門に研究されている柘植隆宏（つげたかひろ）先生です。柘植先生は私達ゼミ生の自主性を大切にしてくれます。また、私達が研究中に壁にぶつかってしまった時には、的確な指示を下さるので本当にゼミ生からは、頼りにされています。柘植先生は私達のやりたい研究を取り組ませてくれますし、様々な面からしっかりサポートして下さるので頼りになる先生です!!!

柘植ゼミの魅力

柘植ゼミではゼミ生が自主的に授業を展開していきます。何か困ったことがあれば先生がサポートしてくれます。環境経済学のことのみではなく、自分達が興味を持ったことを調べることができるので、飽きることなくグループで楽しく研究に取り組むことができます。また、ゼミ生同士仲が良いので飲み会やプライベートでも遊びにいたりしています!!



	<u>5/13</u>	<u>5/20</u>	<u>5/27</u>
<u>ゼミ相談会</u> (5-505) <u>12:20~12:50</u>	×	○	○
<u>ゼミ公開日</u> <u>水曜4限(2-41)</u>	○	○	○

筒井ゼミ

ゼミのキーワードは、「行動経済学」(や幸福の経済学)です。これまでの経済学では合理的個人を前提として理論体系を構築してきました。それは大きな成功を収めました。人々が合理的であるという前提では社会の矛盾点を描くことが難しく、世の中をバラ色に見てしまうという傾向があります。また、人間は合理的ではありませんが、完璧な合理性を持っているとは言えません。行動経済学では、経済実験やアンケート調査を行って、人々がどのように合理性から離れたくせを持っているかを調べ、それを前提に経済学を再構築することを目指します。つまり、行動経済学は大変新しい分野です。人々の行動を観察して、その法則を見つけようというのが、行動経済学の第一歩ですので、普通の経済学とはずいぶん違ったところがあります。この意味でも、新レモノ好きの人を歓迎します。

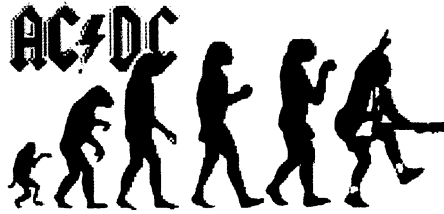
2年生のゼミⅠでは、ダン・アリエリーの『予想通りに不合理』(ハヤカワノンフィクション文庫)を読んで、行動経済学とはどのような研究をするのかを感じ取ってもらいます。この本は「人々は現金は盗まないが鉛筆なら平気で失敬する」といった耳の痛いわれわれの性格を実験によって明らかにしてくれます。各章の担当者が本の内容を発表し、それ聞きながら質疑応答し、最後に内容について自由討議します。詳しくは、シラバスをご覧ください。3年生になったゼミⅡでは、グループで研究課題を決め、論文を書いてもらう予定です。

楽しいゼミにしましょう！

寺尾ゼミ 第13期生 募集のお知らせ

どんな人が、寺尾ゼミに向いていると思いますか？——寺尾ゼミ 卒業生 30の回答

- [01] いまの大学生生活、このままだと、何か物足りない、何か違う気がする、と感じている人。
- [02] やる気はあるが、チャンスを逃してしまったと感じている人。
- [03] 「自分は何も考えていない」と思うことがよくある人。
- [04] 自分がどんな人間なのか、よくわからない人。
- [05] スマホが手元にないと、不安になる人。
- [06] 出会いを大切にする人。
- [07] 人とか、本とか、学問とか、新しい出合いにワクワクできる心をもった人。
- [08] 旅に出たいと思ったことがある人。
- [09] 見る、知る、考えることに、積極的に取り組みたいと考えている人。
- [10] 好奇心が旺盛な人。
- [11] 探究心がある人。
- [12] “考える”をしたい人。
- [13] 考えること、悩むことが好きな人。
- [14] ただの仲良しゼミではないようなゼミがいいな、と思っている人。
- [15] 楽しい悲しい悔しい嬉しい、2年半、いろんな自分に、周りの人に、向き合おうと思う人。
- [16] 「組織を機能させるために、個人を機能させる」という考え方に共感できる人。
- [17] 他の人がパッと見で「めんどくさい」と思うようなことを楽しめる人。
- [18] 自分ではない人のために、力を尽くせる、力を貸せる人。
- [19] 協調性あって、他人に対して興味と関心がもてる人。
- [20] (自分自身を含む)他人の声に耳を傾けられる人。
- [21] 他人のしあわせを、自分のしあわせに変えられる人。変えたいと思っている人。
- [22] 自分以外のことでも、“自分のこと”のように考えることのできる人。
- [23] 素直な人。
- [24] ゼミ紹介での話を注意深く聞き、それでも、どのゼミがいいのか、考えがまとまらない人。
- [25] 寺尾ゼミでもやっていけるのかな。ついていけなさそう。でも、何か気になるな。という人。
- [26] 自分の気持ちを大切にする人。
- [27] 言葉を丁寧に扱う人。
- [28] 弱い人。
- [29] 「できる、できない」ではなく、「やる、やらない」で物事を判断する人。
- [30] どんなとき、どんなところでも、「いま、ここ」にいることが奇跡であると思える人。



- **Angus Young (Lead Guitar)**

「もう長年やってきたから、『そろそろあぐらをかかせてもらうよ、それくらいの事はやってきたんだから』、というのはよくないね。やっぱり、ぶっ倒れて動けなくなるまで、全身全霊注がなきゃいけない。そしたら、気に入ってもらえなくても、『まああいつ、確かに頑張っはいたよな』とは言ってもらえるだろう？」

- **Malcolm Young (Rhythm Guitar)**

「自分たちのやりたいことをする。自分たちの演奏をする。メディアが言う事なんてクソひとつ関係ない」

- **Brian Johnson (Vocal)**

「おいらたちは、グラミー賞を取ることはないし、気取った大衆に尊敬されることもない。あいつらに重要と思えるようなメッセージを何一つ発信するつもりはないからね」

「80年代半ばごろはちょっとつらかったね。売れる音楽が変わって、みんなが長髪になって。そんなわけで、レコード会社が、俺たちに向かって『君たちも、イメージチェンジをした方がいいね』とか言ってきたんだ。『何言ってやがるんだ、ふざけんな!』と一喝したけどね。あの頃、イメチェンしたやつらは誰も残っていないよ。レコード会社の人間なんて、明らかに音楽の事なんてなーんも分かってないのに、そんな奴らのいう事を真に受けたりしたせいさ」

- **Kiyotaka Nakashima (Professor)**

「ゼミの時間は『学問』の話し以外しない」

「見てくれにこだわっているヒマがあったら本を読み、頭を鍛えろ」

林ゼミナール 第13期生募集のご案内

担当者：林 健太 (khayashi@center.konan-u.ac.jp)

「現代では必要不可欠な存在となったITは経済学と密接に結び付いています。このゼミを取っていなかったら何も考えようとせず、IT機器と関わっていたでしょう。」

「デジタル化が進む一方で、アナログの良さもあるのではないか、そこに人間味があってアナログだからこそ人は感動するのだ、というお話が印象に残りました。」

これらは現役のゼミ生が私に寄せてくれた、ゼミの感想です。

スマホ、自動運転車、ウェアラブル端末、ペッパー（ロボット）、人工知能、ボーカロイド等々、ふと気が付けば、私たちの周りはデジタルなもので埋め尽くされようとしています。

おかげさまで、便利な世の中になりました。

でも、便利になりすぎて、人間として、何かとても大事なことを失っていつてしまっているような気がするのです。

このまま行けば、一体どのような未来が待っているのでしょうか。

果たしてその未来は、私たちにとって、幸せなものでしょうか。

ぜひ、林ゼミに入って、これからどう生きていくべきか、一緒に考えてみましょう。

< 数年後の未来を覗いてみよう。 >



平井ゼミ

本ゼミは、19世紀後半～20世紀前半におけるアジア経済の展開、特に日本とアジアの関わりについて理解するための「研究会」である。

周知のように、日本にとってアジアは欧米と同等かそれ以上に重要な地域となっている。アジアは、「開発」と「グローバリゼーション」を主要因として急速に経済成長を遂げたが、一方で、経済格差や環境問題など、容易に克服できない問題を抱えている。また、アジアの成長地域が東アジアに集中していることは、日本人が単純な植民地支配賛美論に陥る危険性を高めている。

以上の問題関心に立って、本研究会ではアジアの歴史を研究する。アジアの歴史を研究することは、現代アジアを取り巻く様々な問題を考える際の「引き出し」を増やす助けとなるであろう。たとえば、現代アジアの「開発援助」が人道的な開発手法であるとすれば、過去のアジアで見られた「植民地開発」は非人道的な開発手法であるが、相反する手法を比較することは、開発とは何か？をより理解する一助となるはずである。また、東アジアの人々と交流を図る際に、植民地問題は避けて通れない話題となるが、他人に流されず自らの意見を持つためには、植民地問題を科学的な手続きで理解する必要がある。現在を見るだけで、現在を理解することは難しい。それは、過去を見るだけなら、歴史を学ぶ意味はないことと同じである。

経済史が扱う対象は極めて広い。産業・貿易・人口・都市といった経済問題のみならず、経済に大きな影響を与える政治・外交や、教育・社会保障・衛生・環境なども主な考察対象である。多様な問題を考えたいという積極的な姿勢を持った学生、現代の問題に関心を持って歴史を見ようとする学生の参加を望む。

村澤ゼミ第1期生募集!

「おもしろ経済学&統計学」をテーマに
新たに発足する村澤ゼミの第1期生を募集します

村澤ゼミに向いている学生

おもしろいアイデアを持つ学生

調査・研究の仕事に関心を持つ学生

議論好きな学生

ゼミの予定

ゼミⅠ 統計検定3級取得を目指します

ゼミⅡ 統計検定2級取得を目指すとともに、卒業研究の準備をします

ゼミⅢ おもしろ卒業論文を書き、発表します

昨年度のゼミ生（前任校）の卒業論文

「きょうだい間の教育格差」

「地下音楽市場にみる生産枚数限定販売の有効性」

「結婚幸福度を規定する要因」

「予告先発投手制は観客動員数を変動させるか」

「専門家の評価はゲームソフトの需要に影響するか？」

「幼少期芸術教育の投資効果」

「政治に無関心な人とは」

「高校野球における各プレーの貢献度」

※全文を <http://ymurasawa.web.fc2.com/uzemi.html> で公開しています

研究室：9号館7階724号室

オフィスアワー：火曜4限